

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ホームセンターコーナン江坂駅前店	階数	地上1F
建設地	大阪府吹田市豊津町	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,300時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年2月 予定	評価の実施日	2024年6月25日
敷地面積	6,564 m ²	作成者	茶谷 亜彦
建築面積	3,687 m ²	確認日	2024年6月27日
延床面積	3,634 m ²	確認者	松本 宏一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0</p> <p>★ ★ ★ ★ ★</p>	<p>標準計算</p> <p>30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超 ☆☆☆</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.9</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.2</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低層の建物とし、敷地の有効活用と駐車場、駐輪場を確保するとともに周辺環境の向上に配慮した。 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調が非効率的にならない様に室内機や換気扇の位置を検討し、売場の室内環境の向上に努めた。 	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー新法に準拠し、売場内の平均天井高を5.05mとすることにより、開放性・快適性のある店内空間となるよう配慮した。 	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者用通路を設け、外部からの車両出入り口を複数ヶ所設けるなど、渋滞が発生しないよう、周辺環境の安全性にも配慮した。
<p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネ法で要求される基準を最低限確保した。 	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生機器については、節水型の機器を採用し水資源の節約に配慮した。 	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条例等で必要な駐車・駐輪スペースを確保した。また施設内への車の出入りの際、周辺交通に影響を与えないよう配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		(仮称)ホームセンター江坂駅前店新築工事					
建設地		大阪府吹田市豊津町					
用途/区分		物販店					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					1	
③	断熱性能					3	
		<small>建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル</small>	<small>住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分</small>	評価対象外		評価対象外	
④	エネルギー消費性能					3	
		<small>建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル</small>	<small>住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分</small>	評価対象外		評価対象外	
	<small>非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分</small>					3	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】							
項目	評価内容					スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					3.7	4
② みどり・ヒートアイランド対策							
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出					1.0	1
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上					2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2.2 温熱環境悪化の改善					1.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制					3.1	3
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化					3.4	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用					3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	報告しない
その他							
先進的技術の導入	技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項							